

浮いて助けを待つ 親子で着衣泳を学ぶ

田久子ども会が7月23日、赤間小学校のプールで「親子着衣泳教室」を開き、親子36人が参加しました。

着衣泳とは、洋服などの衣類を身に付けて、海や川、プールなどで泳ぐことで、水難事故時では「命を守る着衣泳」といわれています。

今回の指導者は、福岡県着衣泳会の川原公仁さん（34歳・筑紫野太宰府消防本部）ら5人。着衣泳の必要性や水の事故に遭った場合、命を守るためにどのような対処をしたらよいか、親子で体験を通して学びました。

川や海での事故で亡くなる人は、年間約1000人。そのうち約800人が着衣の状態、水際の事故が大半を占めています。

水の事故に遭った場合のポイントとして①自分がおぼれたら、浮いて救助が来るまで待つ②おぼれている人がいたら、浮きそうなものを投げ入れて自分は入水しない③プールの助けを呼ぶことや、119番へ電話を掛ける時の注意点など、着衣泳会のメンバーから分かりやすく説明してもらいました。

次は水中での実演で



ペットボトルを使って水面に浮く子どもたち

参加者はまず、自分の靴を水の中に沈めて手を離すと、靴が浮くことを学習。その後、着衣のままプールに入って、ゲームなどで着衣の感覚と体を慣らししました。

そしていよいよ、水に浮く「背浮き」の体験です。まず、着衣泳会のメンバーがペットボトルを使って実演しました。

仰向けになって①ペットボトルをおなかよりやや下目に持つ②体の力を抜く③顎を上げるなどのポイントの説明を受けた後、まず子どもたちが背浮きに挑戦。初めはうまくいかず体が沈んだり足が下がったりしていましたが、コツをつかむと気持ち良さそうに水面に浮いている子どもたち

どもや、ペットボトルなしでも浮いている保護者もいました。

次は、水難事故に遭った人を救助する訓練です。プールに浮きそうな物を投げ入れます。今回はペットボトルを使いましたが、ランドセルやリュックサック、ごみ袋も有効です。

「助ける人は、大きな声掛けて相手の胸に向かって放物線を描くようにペットボトルを投げ、救助が来るまで声を掛けて励ます。救助される人は、物を取る時に手を上げるとバランスを崩して沈んでしまうので、水面

に浮いた物をゆっくり取ることが大切です」と指導を受け、命を守ることを実践しました。

▽山本咲枝（さえ）さん（同小4年）、中山結ゆ（ゆ）さん（同小4年）

「足が重くて沈んでしまいましたが、家族で釣りに出かけることがあるので、万が一の時には今日習ったことを生かしたいです。」

▽中島勉さん（40歳代）、諒（りょう）くん（赤間小6年）、理咲（りさ）さん（同小1年）

「着衣泳は初めてでしたが、親子で楽しくできました。靴が浮くのは大発見で、足が沈むのを助けてくれる。浮いて助けを待つのが大切ということを学びました。子どもは「服が体にくっついて違和感がある」と言っていました。

問い合わせ先 子ども育成課 ☎(36) 1214

「道の駅むなかた」通信 来場者500万人を突破

平成20年4月のオープンから4年目を迎えた道の駅、来場者が500万人を突破しました。

行実さん夫妻は「月2回ほど、家族みんなが大好きなアジの開きを買うために道の駅へ来ていますが、500万人目と聞いて驚いています。いただいた記念品は、刺身などにしてみんなで食べたんです」と、思わぬプレゼントに大喜びでした。



谷井市長（右端）らから記念品を贈られる行実さん夫妻（中央）

記念すべき500万人目の来場者となったのは、直方市の行実（ゆきざね）英二さん（65歳）と保子さん（52歳）夫妻。行実さん夫妻には谷井博美市長らから記念品として、3・2キロのタイをはじめ、サザエ、ヤリイカ、アワビ、

問い合わせ先 道の駅むなかた ☎(62) 2715

安全パトロールステッカーで地域の犯罪減少を

赤間地区コミュニティ・センターで7月27日、車両に磁石で付ける「地域安全パトロールステッカー」の贈呈式を開きました。これは、宗像警察署の教育大前交番が赤間地区コミュニティ運営協議会の協力を得て、6月中旬に同センターで運営協議会の役員や地域の企業、大学生らを集めて、地域防犯活動の推進策などを協議。その中で、グローバルアリーナから「所有する事業用車両にステッカーを付けてパトロール活動に取り組みたい」と提案があり、同運営協議会が作ったステッカーを贈呈することになったものです。



ステッカーを手にする百崎さん（右端）と前田さん（中央）

贈呈式で同運営協議会会長の前田誠さんが、グローバルアリーナの事業部責任者・百崎順二さんにステッカーを手渡ししながら「私たちのステッカーがお役に立てば何よりです。お互い地域防犯に頑張りましょう」と激励。百崎さんも「会社が持っている事業用車両7台と送迎用バス3台に付けます。地域の犯罪が1件でも減るように頑張ります」と決意を述べました。

立ち会った教育大前交番の須崎正俊警部補は「グローバルアリーナの所在地は、吉武地区コミュニティ運営協議会のエリアですが、防犯活動に垣根はありません。お互い協力してもらえるとありがたいです」と笑顔で話していました。（市民記者・真嶋賢一）

問い合わせ先 赤間地区コミュニティ運営協議会 ☎(39) 7051



国・県などから

動物愛護週間

内容 9月20日（火）～同26日（月）は動物愛護週間。「言葉はなぐとも動物はみんな友達ち！」を合い言葉に、県が動物愛護に関する催しを開催します

日時 9月22日（木）午後2時開始

【動物慰霊祭】

日時 9月22日（木）午後2時開始

場所（財）福岡県動物愛護センター（古賀市小竹131-2）

日時 10月9日（日）午前11時30分開始

場所 だざいふ遊園地（太宰府市幸府4・7・8）

*当日入園無料

【動物愛護 フェスティバル】

日時 10月9日（日）午前11時30分開始

場所 だざいふ遊園地（太宰府市幸府4・7・8）

*当日入園無料

内容 ペットスケッチコンクールの表彰と展示、スタンラリー、動物クイズなど

【共通事項】

問い合わせ先 県宗像・遠賀保健福祉環境事務所保健衛生課 ☎(36) 6098

公証週間 無料相談会

主催 日本公証人連合会

期間 10月1日（土）～同7日（金）

時間 午前10時～午後3時30分

相談内容 相続、遺言、離婚、任意後見、各種契約など

会場/受付電話番号

▽福岡公証役場（福岡市中央区舞鶴3・7・13・大禅ビル2階）／☎092（741）0310

▽博多公証役場（福岡市博多区博多駅前3・25・24・八百治ビル3階）／☎092（400）2560